

断熱玄関ドア ヴェナート D30

基本性能・断熱性能



■基本性能

耐風圧性：S-2

気密性：A-4

水密性：W-2

遮音性：住宅性能表示
音環境透過損失等級

(外壁開口部)等級2

※住宅型式性能認定による
(E06、E13デザインを除く
全デザイン)。

※試験値による
(E06、E13デザイン)。

※【平成28年省エネルギー基準】では、上記の数値を用いた適合評価が必要です。

※一部機種・サイズで上記性能に該当しない場合があります。

※気象・立地の条件によっては、枠とドア本体のすき間やガラス、パネルの額縁まわりから室内側の土間に水が入ってくるおそれがあります。

※【気密性・水密性】ポスト付子扉は対象外です。

断熱性と日射熱取得率

【平成28年省エネルギー基準】建具とガラスの組合せによる熱貫流率および日射熱取得率※1

建具の仕様	ガラスの仕様	中空層の仕様		開口部の熱貫流率[W/(m ² ·K)]		開口部の日射熱取得率[%]	備考
		ガス注1)の封入	中空層の厚さ	遮蔽物なし	風除室あり		
枠：金属製熱遮断構造、木と金属との複合材料製又は樹脂と金属との複合材料製	Low-E複層ガラス	されていない	10mm以上	2.33	1.89	0.079	・D2仕様 ・適用デザイン：E13デザインを除く全デザイン
戸：金属製断熱フラッシュ構造の戸	ガラスのないもの	—	—	2.33	1.89	0.079	
枠：指定しない	複層ガラス	されていない	4mm以上	4.07	2.90	0.138	・D4仕様 ・適用デザイン：E06、E13デザインを除く全デザイン
戸：金属製フラッシュ構造の戸	ガラスのないもの	—	—	4.07	2.90	0.138	

熱貫流率(建具の仕様と合致しないもの※2)

熱貫流率[W/(m ² ·K)]	適用デザイン
2.33以下	・D2仕様 ・適用デザイン：E13デザイン※3
4.07以下	・D4仕様 ・適用デザイン：E06、E13デザイン※3

※D3仕様もご用意しています。(D2仕様の枠とD4仕様のドア本体の組合せです。)

断熱性と日射熱取得率は弊社ホームページ内の「開口部の仕様別熱貫流率とYKKAPの適合商品一覧」をご参照ください。

注1)：「ガス」とは、アルゴンガスまたは熱伝導率がこれと同等以下のものをいう。

※1：国立研究開発法人建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」による。

※2：記載している熱貫流率の値は全て、代表評価モデルの「JISA4710建具の断熱性試験方法」または「JISA2102窓およびドアの熱性能—熱貫流率の計算」に準拠した自社計算プログラムにより確認した結果です。

※3：ポスト付子扉・通風子扉は対象外です。

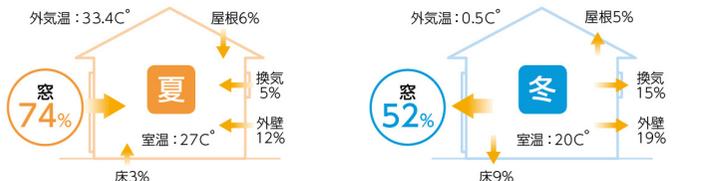
■断熱性能と主要構造

今も、これからも、快適な住まいのために。断熱ドアをおすすめします。

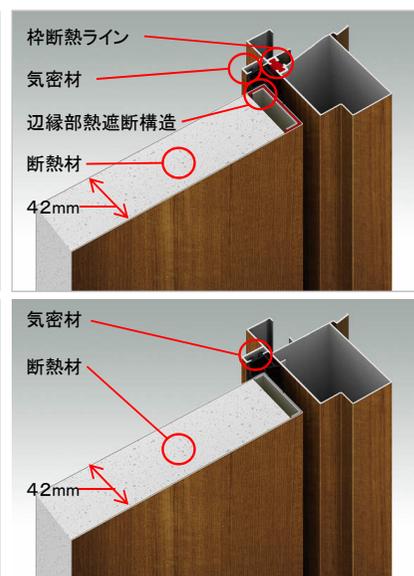
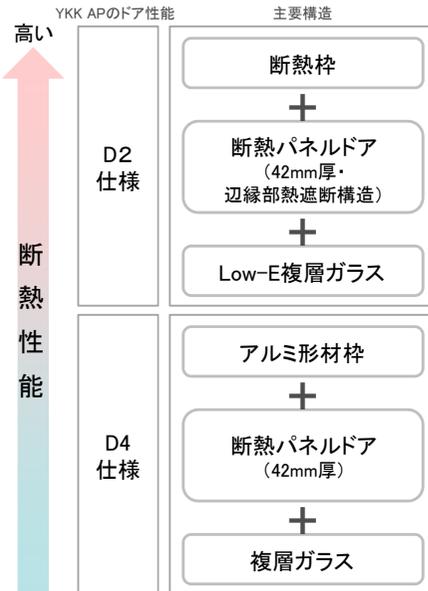
窓やドアから出入りする熱は、屋根や外壁よりもはるかに大きな割合を占めています。開口部を断熱化すると冬は暖房の効きが良くなり、夏は熱流入を軽減できるため、部屋のいごちが快適になると共に、冷暖房費も節約できます。断熱性能の異なる3つの仕様をご用意していますので、ご希望の断熱性能をお選びください。

夏に流入する熱の割合 外気温 33.4℃
冬に流出する熱の割合 外気温 0.5℃

選定日：日平均外気温の最大日、8月10日14～15時、東京
選定日：日平均外気温の最低日、2月24日5～6時、東京



出典：「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準仕様のプランにおける例で、AE-Sim/Heatによる当社の計算結果より。窓種：アルミ(複層ガラス)【算出条件】解析No.00002
使用ソフト：AE-Sim/Heat(建築の温熱環境シミュレーションプログラム)/株式会社建築環境ソリューションズ
気象データ：拡張メダス気象データ(2000年度版 標準年/一社)日本建築学会
住宅モデル：「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準仕様のプラン 2階建て/延床面積：120.08㎡/開口面積：32.2㎡(4～8地域) 躯体：平成28年省エネルギー基準レベル相当



※D3仕様もご用意しています。(D2仕様の枠とD4仕様のドア本体の組合せです。断熱性と日射熱取得率は弊社ホームページ内の「開口部の仕様別熱貫流率とYKKAPの適合商品一覧」をご参照ください。)

※商品の色は、印刷の特性上、実物と多少異なる場合がありますのでご了承ください。